広報 るもい

發行所
留萌市役所
電話（代）270番
編集人
總務課長 田邊勝郎
留萌市幸町三丁目
印刷所 金子印刷所
（毎月1回 1日發行）

9月中の人口のうごき

世帯数				8,427世帯
總人口				39,313人
			男	19,791人
			女	19,522人
	出生	死亡	轉入	轉出
男	32人	13人	103人	78人
女	31人	12人	74人	72人
計	63人	25人	177人	150人

市民待望の 留萌港船溜工事 いよいよ着工

重要問題着々解決へ

わが留萌市の發展のためもつとも重要な問題として多年にわたつて運動をつづけてきた留萌港の整備擴充のこと、留萌港の港勢振興のためもつとも期待されている羽幌築別と初山別間鐵道敷設のこと、市民から現下切実な問題として叫ばれている小學校新設の問題など、着々運動が実を結びつつあります。

殊に市民の待望久しい留萌港船溜開設工事はいよいよ本月十五日堀さくに着工しました。この起工式は十一月中に行われる予定です

◎港灣事業の狀況

昭和三十二年度の港灣事業は国の直營事業として留萌開發建設部によつて行われていますが、今年は特に事業量が多いので大馬力でやつており順調に進んでおります。十月二十日現在の進み方はほぼ次のとおりです。

1 改修事業 予算四千万円 進捗率八五%

◎南岸壁改造工事

昨年度行つた五二、五米につづいて更に三二米を改造するもので進捗率八〇%

2 物揚場補修工事

南岸物揚場の階段破損二ヶ所と欠壊部一ヶ所の補修をするもので八〇%進んでおります。

3 航路浚渫工事

船舶出入の航路の一部（外港及び内港）から四万立方米のどろ上げをするもので全部完了しました

4 船溜開設工事と外港埋立地護岸工事

懸案の船溜開設で同時にその堀さくした土砂を外港海濱になげてこれを埋立に利用するものです。

本年度は土砂五、五〇〇立方米を堀り、埋立た所には仮護岸三三八米を築造することになつています。本年度の事業区域にある家屋、水道、電線などの移轉、移設の補償を解決し、本月十五日に堀さくを開始しました。

二、災害復舊事業 予算六千八百万円

二十七年度の過年度災害で南防波堤のこわれた部分二ヶ所延長一六〇米の復舊工事の施行で外海の波浪をまともに受ける難工事ですが、よくこれを克服して九五%進みました。

◎遠羽線鐵道

築別－遠別間の鐵道敷設は昭和十三年から五ヶ年計画で一部着手せられましたが終戦によつて全面的に中止され以來沿岸市町村が一丸となつて「天塩沿岸鐵道促進期成会」（会長橋本留萌市長）を結成し猛運動を続けた結果再び着工を見、いよいよこのたび築別－初山別村初浦間の第一期工事が完了し部分開通の運びとなり、十一月六日この祝賀式が初山別において行われる予定です。本鐵道の完成は來年十月頃の予定で、本鐵道の全線開通によつて留萌管内産業のもとよりわが留萌市はもとよりわが留萌市にとつても一大飛躍が期待されるところであります。

◎小學校新設の起債

小學校父兄から熱望されておりました小學校の新設は、このたび起債額九百五十万円の内示があり近く正式な許可があるものと思います。敷地については議会の承認を得て目下所有者と交渉中で近く決定する予定です。

九月定例市議會

追加更正豫算など審議

九月定例市議會は、九月二十七日開かれ會期を五日間と定め（二十八、九日を休會）議案二十四件、報告五件、請願三件、陳情一件決議案一件、を審議の結果市税條例の改正と財政再建計画の一部變更の二議案を撤回したほか全部可決、採擇して八月一日閉會しました。

決まつた主な議案の内容は次のとおりです。

▲藤山助産所の設置

藤山に国民健康保險の助産所をつくろうとするものです。

▲小學校新築の敷地買上げ

小學校を新らしくつくるための敷地として、原野五線（高等學校と自衛隊の間）の土地を買上げようとするものです。

▲職員給與の改訂

市職員の給料を國の方針と同じように改めようとするものです。

▲議員報酬の改正

月額議長は九千円、副議長八千円、議員七千円に改めました。

▲歳入歳出更正予算

一般會計予算三億四千五百八十九万八百六十円を減額して三億三千十万七十三円に更正しました。

国民健康保險費は、二千五百九十九万二百二十二円が二千七百六万八千二十二円と増額となり、東病院費は、五千二百十六万一千三百二十円が五千二百四十五万四千三百二十円と更正されました。

▲教育委員の選任

任期満了に伴う教育委員の選任は、松家雄一郎氏が再任されました。

▲公平委員の選任

堀田文輔氏が再任されました。

▲国民健康保險運營委員の選任

次の方々がえらばれました。

一、醫師、歯科醫師、薬剤師を代表する委員

後藤秀雄、玄番新三

鶴羽正次郎

二、公益を代表する委員

八幡久榮、大和信正

南出京子

三、被保險者を代表する委員

寺西祐一、関一郎

▲消防委員の選任

議員のうちからえらばれる委員は次の方々にきまりました。

大村辰雄、佐々木吉郎

國崎實隆

決議 議會は次の決議を政府をはじめ関係各方面に送ることになりました

決議文

日ソ近海漁業暫定協定並びに貿易協定締結促進に関する決議

一、沿岸漁業の衰微並びに漁船だは事件続發の悲惨なる現狀を体し樺太、千島歯舞諸島、舊日本領土全域に亘り漁業の接岸操業の確保が期せられるよう暫定協定の締結を図られたい。

二、日ソ兩国の友好親善を図り早急適確なる日ソ貿易の伸展が期せられるよう努力せられたい。

右決議する

留萌市議會

請願

▲幌糠大橋と中幌第一號橋の敷板は、くさつてこわれているため車や馬が通れないのでいそいでなおしてほしい。

幌糠代表 久保龜太郎

▲日劇から電通までの約八十米の排水溝は、あれたままになつており、このため下水は道路側の土や砂をすくつて側溝を埋め道路のはばをせばめております。これをこのままにしておきますと下水は道路面に流れるようなことになりますのでいそいでなおしてほしい。

代表 谷儀助

▲僻地農村の通信施設をし農村の文化向上をはかるため有線放送の設備事業に補助をしてほしい。

農業協同組合長 春木清作

赤いハネを あなたのむねに

募金目標額五十万円

（街頭募金に橋本市長も一役買つて）

この世の中に不幸な人が一人もいない明るい幸福な社会をつくることは国民のお互の念願でありましよう

毎年十月に行われるこの赤いハネ運動は、この社会の貧乏、病氣、犯罪といつた不幸を少くし明るい社会を、みんなの力でつくりあげていく運動であります。

留萌市の不幸な人々に對して昨年は国や道から生活保護や教育、住宅、醫療などのために出されたお金は二千二百万円以上にもなつております。

しかしこの世の中をよくするためには国や道にまかせておけばそれでできるというわけのものではありません。市民お互が心からたすけ合う温たかい手をさしのべて、みんなの力でつくりあげていかなければならないと思います。どうか今年もこの運動に心から御協力下さるようお願いいたします。

一、募金目標額

1 街頭募金 五万円

2 戸別及び大口募金 四十二万円

3 催し物の収益 三万円

二、どのようにわけられ、使われるか

留萌市社会福祉協議会に二十五万円を配分する

この金は、生活援護、兒童福祉、遺族福祉、母子福祉、身体障害者福祉、生活改善、保護衛生向上などのために使われます。

2 留萌市民生委員会に四千円を配分する

この金は保護世帯更生事業に使われます。

3 北海道共同募金会に十五万七千円を配分する

この金は、全道の養老院母子寮、保育所などの社会福祉施設へ使われます。

4 共募市支会に五万三千円配分する

この金は、募金のための經費と来年の運動準備金となります。

日・米・英・伊・印・獨六ヵ國の專賣特許の
長靴とスキー靴が留萌で販売されて居ります....
★ ゴム長靴の三倍の溫さを保ち・七倍の強さを誇る完全防水の子寶の長靴が發明されました.....
★ 絶体に水の透らない子寶のスキー靴は全部專賣特許の特殊な製法です.....
★ 耐寒製で水虫を防ぎ・汗を防ぎ・完全保溫であり經濟的な對象の靴です.....
長靴・スキー靴
一般紳士靴・防寒長靴
子宝靴
主なる納品先 陸海空自衛隊 南極探險隊 國鉄・開發局 他
留萌市本町四丁目 信用金庫横通り TEL 223